

**戦略的創造研究推進事業
ALCA-Next
提案書記載の際の留意事項**

2026年 3月



科学技術振興機構

全体を通じた留意事項（1）

- **2026年度より提案書様式が変更となっております。最新の様式を公募ページからダウンロードして研究開発提案書を作成してください。**
- 提案書作成にあたっては、青字の記載ガイドを必ずご確認ください。
- 提案時には青字の記載ガイドを削除してください。
- ファイルの容量は3MB以内を目安に作成してください。
- e-Radと研究開発提案書双方に記載欄がある事項について、記載内容が異なる場合は研究開発提案書の情報を正として取り扱います。
- 研究開発費は〇〇千円単位の記載となりますので、ご注意ください。（〇〇万円ではありません。）
- 研究開発提案書は、e-Radへアップロードする前に PDF 形式への変換が必要です。

全体を通じた留意事項（2）

- 各様式のページ数制限は以下の通りです。

様式	上限
1	1ページ
2	3ページ
3	1ページ
4-1	4ページ
5-2	2ページ
5-3	2ページ(1グループあたり)
6-1	3ページ
6-2	2ページ(1名あたり)
8	2ページ
上記以外	なし

**以下、一部の様式における注意事項について
補足いたします。**

様式1

2026年度募集 ALCA-Next 研究開発提案書

※提案書作成時、青字の記載ガイドは削除してください。

- ・項目名および以下の書式設定は変更しないでください。
 - サイズ：A4 サイズ、余白：やや狭い、行間：固定値 18 pt
 - フォントスタイル：原則 BIZ UD ゴシック（日本語版）、本文フォントサイズ：10.5 pt
- ・e-Rad にアップロードされた提案書に評価を困難とする不備がある場合は、不受理といたします。「評価を困難とする不備」とは、提案書各様式の抜け、査読を困難とする文字化け、提案書記載項目の重大な記載漏れ等を指します。なお、JST は、提案の受理・不受理を問わず、募集締切時刻までに発生する提案書の不備についての一切の責任を負いません。従って、募集締切時刻までに、JST は提案者に事前確認のうえでの提案書の訂正もしくは、提案者に対する訂正依頼行為の一切を行わないことにつき、予めご承知おきください。また、募集締切後の e-Rad 上での引戻し処理はできません。
- ・e-Rad 入力情報について、提案書の記載と相違が認められた場合は、提案書の記載を正として取り扱います。

様式1 基本事項

※様式1はA4用紙1ページ以内（厳守）としてください。

提案先技術領域名	<p>資源循環</p> <p>a. 高効率・省エネルギーな温室効果ガス分離・回収・利用技術 二酸化炭素を原料とする新しい高付加価値化合物の合成技術</p> <p>※提案先の技術領域名、カテゴリ名およびボトルネック課題名を記載してください。対応するボトルネック課題の例示がない場合は、“その他”と記載してください。</p>
研究開発課題名	<p>※日本語の課題名（20字程度）を記入してください。</p> <p>※英語課題名の場合は、日本語の課題名（20字程度）を併記してください。</p>
研究開発代表者氏名	
所属機関・部署・役職	<p>※「大学院〇〇研究科」「特任准教授」等、略さず正しく記入してください。「大学院」の表記漏れにご注意ください。</p> <p>※大学・大学院の場合は学科・専攻まで記載してください。</p>
研究期間	2026年9月～ 年 月（ 年間）
研究概要	<p>※本提案の目的および実施内容の概要を簡潔にまとめ、300字以内で記入してください。</p> <p>※e-Rad 基本情報「研究概要」部分にも同じ文章をご記入ください。</p>

技術領域名の記載、カテゴリの選択がe-Rad記載と一致しているか。（e-Radではシステム上カテゴリ名が途中までの表示となっているものがありますので、ご注意ください）

研究開発課題名はe-Rad記載と一致させてください。

様式2

様式2 研究開発課題の全体構想

- ※ 様式2は、A4用紙3ページ以内（厳守）としてください。
- ※ 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。
- ※ 以下の観点から評価を行います。
 - 本プログラム・技術領域等の趣旨に合致し、カーボンニュートラル実現に大きく貢献可能な技術の創出が期待されること。
- ※ 本プログラムの趣旨については募集要項「第1章」、提案先技術領域の募集方針については募集要項「第6章」を必ずご確認ください。
- ※ 本プログラム・技術領域等の趣旨を踏まえ、募集要項第「2章2.9 選考の観点」に示す以下の項目について、具体的かつ明確に記載してください。
 - ・本研究開発によって創出を目指す技術
 - ・カーボンニュートラル貢献へのシナリオ
当該技術が社会実装されることによりカーボンニュートラルにどのようにつながるのかのシナリオを、科学的な根拠も示しながら記載してください。その際、提案される技術の利用プロセス全体を通して温室効果ガス排出量削減へ貢献できることを示してください。
 - ・本研究開発で解決すべき技術的課題と課題解決に必要なブレークスルー
 - ・全体構想を実現するにあたって考えられる技術的・社会的な障害やリスク
- ※ 必要に応じて研究・活動実績（様式6）の記載内容を適切に引用し、研究・活動実績と本構想との関係が明確になるようにしてください。引用にあたっては、研究・活動実績にて示した論文・著書番号（研究開発代表者：様式6-1、主たる共同研究者：様式6-2）を用いることもできます。ただし、論文・著書番号を引用する場合は、その番号が研究開発代表者あるいは、どの主たる共同研究者の業績に対応しているかがわかるようにしてください。
- ※ ALCA-Nextへ複数回の応募となる場合は、前回の提案との相違点をご記載ください。

これらの項目について具体的かつ明確に記載してください。

ALCA-Nextへ複数回の応募となる場合、前回の提案との相違点を記載してください。

様式4-1

(2) 研究開発スケジュール

- ※ 具体的なスケジュールとマイルストーンについて、総表で示してください。
- ※ 実施項目中に記載するグループ名は様式 5-1 の体制表に記載した氏名+グループとしてください。
- ※ 必要に応じて行を増減してください。
- ※ 研究実施項目が複数ある場合は、できるだけ項目別のスケジュールや分担者が分かるように記入してください。
- ※ 変更後の欄は研究開発開始以降に使用します。

研究実施項目 (担当グループ)	スモールフェーズ				加速フェーズ		
	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	2026.9~ 2027.3	2027.4~ 2028.3	2028.4~ 2029.3	2029.4~ 2030.3	2030.4~ 2031.3	2031.4~ 2032.3	2032.4~ 2033.3
1.〇〇関連遺伝子発現解析							
・〇〇遺伝子の同定(〇〇グループ)		→					
・〇〇遺伝子発現解析(ΔΔグループ)		→					
2.〇〇モデル動物の開発と検証							
・〇〇モデル動物の開発(〇〇グループ)		→					
・〇〇モデル動物の検証(□□グループ)			→				
3.〇〇イメージング解析							
・〇〇関連データの取得(□□グループ)		→					
・〇〇ソフトの開発(〇〇グループ)		→					

変更後の欄は研究開発開始以降に使用しますので、提案時点では空白としてください。

様式4-2

1. 研究グループ別の予算計画

- ※ 様式 5-1 で提案する研究グループ別の研究開発費の見込みを年度ごとに記入してください。
- ※ 必要に応じて行を増減してください。
- ※ 加速フェーズ以降に追加する想定ของกลุ่มがある場合は、追加予定グループ分としてまとめて記載してください。
- ※ e-Rad の予算入力では、追加予定グループ分は、研究開発代表者のグループに合算し、合計が e-Rad と研究開発提案書とで一致するようにしてください。

直接経費	スモールフェーズ			加速フェーズ			合計 (千円)	
	初年度 2026. 9~ 2027. 3	2年度 2027. 4~ 2028. 3	3年度 2028. 4~ 2029. 3	4年度 2029. 4~ 2030. 3	5年度 2030. 4~ 2031. 3	6年度 2031. 4~ 2032. 3		7年度 2032. 4~ 2033. 3
研究開発代表者G: 氏名 (△△大学)	20,000	20,000	20,000	20,000	40,000	40,000	40,000	200,000
主たる共同研究者G1: 氏名 (△△大学)	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	21,000
主たる共同研究者G2: 氏名 (△△大学)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	14,000
追加予定G分	0	0	0	0	30,000	30,000	30,000	90,000
合計(千円)	25,000	25,000	25,000	25,000	75,000	75,000	75,000	325,000

単位は千円です。ご注意ください。

研究開発費の上限は**年度毎**に以下の通りです。
 スモールフェーズ：25,000千円、加速フェーズ：75,000千円

様式5-1

様式 5-1 実施体制(全体)⇐

※ 以下の観点から評価を行います。⇐

提案内容の逆行に最適な実施体制を構築していること。⇐

※ 必要に応じて行を増減してください。⇐

⇐

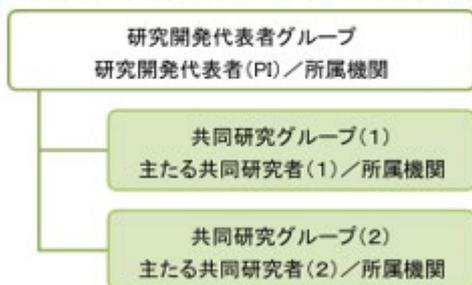
1. 研究開発の実施体制⇐

(1) 研究開発体制の概略図⇐

○スモールフェーズの体制⇐

※ 研究開発代表者の研究構想を実現するために必要十分で最適な体制を図示してください。⇐

(提案する研究開発の構想・計画に合わせ、下図を参考に適宜作成してください。)⇐



※ 共同研究グループを構成する場合、共同研究グループは研究構想実現のために必要不可欠であって、研究目的の達成に向けて大きく貢献できることが必要です。⇐

※ 原則として JST は研究開発題目ごとに研究開発代表者または主たる共同研究者の所属機関と委託研究契約を締結し、研究開発代表者と主たる共同研究者が研究開発費の配分を受けられます。⇐

※ 研究開発費を執行する必要のある共同研究者は、主たる共同研究者として実施体制に加えてください。⇐

JSTから配賦された研究予算を執行し研究開発を実施する、すべての研究開発機関を記載してください。

研究開発の再委託はできません。 予算執行を行うすべての研究開発機関とJSTは委託研究契約を締結します。

様式5-2

様式 5-2 実施体制（研究開発代表者グループ）

※ 様式 5-2 は、A4 用紙 2 ページ以内(厳守)としてください。

※ 以下の観点から評価を行います。

提案内容の逆行に最適な実施体制を構築していること。

1. 研究開発代表者グループ

(1)実施体制

※ 研究開発グループの構成メンバーについては、その果たす役割等について十分ご検討ください。

※ 提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員 ○名」と記載してください。

※ 複数の組織（研究室、部室、研究機関等）で1つグループを構成することも可能です。その場合は、「異なる組織に所属するメンバーが執行する研究開発費の管理を、グループを主宰する研究者（研究開発代表者、主たる共同研究者）の所属機関が行えること」が必須です。もしこの対応が不可である場合は、異なる機関に所属する研究者は共同研究グループとしてください。また、同一機関に所属する場合であっても、個別に経費を執行する必要がある場合等は、別の共同研究グループとしてください。（募集要項「第2章2.6応募要件」を参照してください。）

※ 必要に応じて行を増減してください。

※ エフォートは様式 7 と同じ数値を記入してください。

研究開発代表者 氏名	所属機関、部署、役職名	エフォート
○○ ○○	○○大学 大学院○○研究科 ○○専攻 教授	30%
主な研究開発参加者 氏名	所属機関、部署、役職名 (上記と同じ場合には「同上」とし役職名を記載)	
○○ ○○	同上 主席研究員	
○○ ○○	同上 研究員	
2名雇用予定	同上 特別研究員	
×× ××	××株式会社 ××研究所	

現在の所属機関と採択後研究開発を実施する機関が異なる場合には、研究開発を実施する機関を記載いただき、特記事項にて事情をお知らせください。

エフォートはe-Radの数値と一致させてください。

「研究開発参加者」と「主たる共同研究者」とは区別してください。
e-Radの「2.研究組織情報の登録」には、「研究開発参加者」の入力は不要です。

様式5-3

様式 5-3 実施体制（共同研究グループ）

※ 様式 5-3 は、共同研究グループ 1 グループあたり A4 用紙 2 ページ以内(厳守)としてください。

※ 以下の観点から評価を行います。

提案内容の逆行に最適な実施体制を構築していること。

※ 共同研究グループ(共同研究機関)が複数必要な場合、本様式 5-3 に各項目をコピーし、共同研究グループごとに記載してください。

1. 共同研究グループ(1)

(1)実施体制

※ 研究グループの構成メンバーについては、その果たす役割等について十分ご確認ください。

※ 提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員 ○名」と記載してください。

※ 複数の組織(研究室、部室、研究機関等)で1つグループを構成することも可能です。その場合は、「異なる組織に所属するメンバーが執行する研究開発費の管理を、グループを主宰する研究者(研究開発代表者、主たる共同研究者)の所属機関が行えること」が必須です。もしこの対応が不可である場合は、異なる機関に所属する研究者は別の共同研究グループとしてください。また、同一機関に所属する場合であっても、個別に経費を執行する必要がある場合等は、別の共同研究グループとしてください。(募集要項「第2章 2.6 応募要件」を参照してください。)

※ 必要に応じて行を増減してください。

※ エフォートは様式 7 と同じ数値を記入してください。

現在の所属機関と採択後研究開発を実施する機関が異なる場合には、研究開発を実施する機関を記載いただき、特記事項にて事情をお知らせください。

エフォートはe-Radの数値と一致させてください。

主たる共同研究者 氏名	所属機関、部署、役職名	エフォート
○○ ○○	○○大学 大学院○○研究科 ○○専攻	30%
研究者番号 ¹⁾ : 12345678		
研究期間コード ²⁾ : 1234567890		
主な研究開発参加者 氏名	所属機関、部署、役職名 (上記と同じ場合には「同上」とし役職名を記載)	
○○ ○○	同上 主席研究員	
○○ ○○	同上 研究員	
2名雇用予定	同上 特別研究員	
×× ××	××株式会社 ××研究所	

※ 1) 主たる共同研究者は、府省共通研究開発管理システム (e-Rad) へ研究者情報を登録した際に付与される 8 桁の研究者番号を記載してください。

※ 2) 所属先の府省共通研究開発管理システム (e-Rad) 所属研究期間コードを記載してください。